

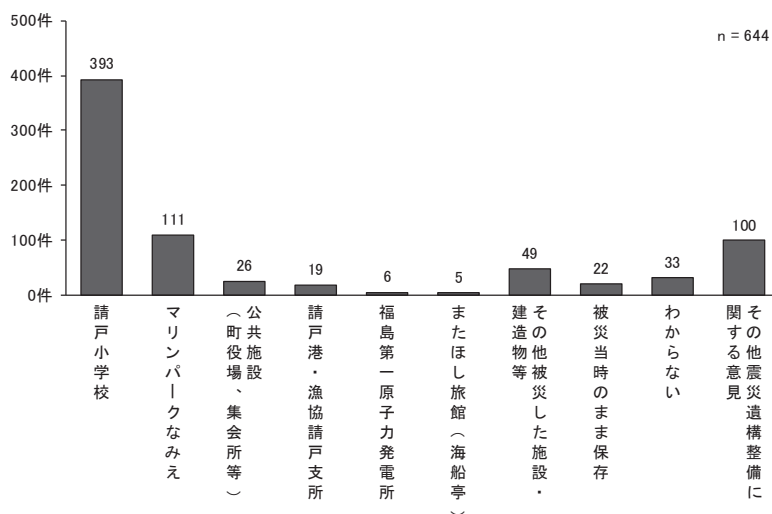
3-4-2 震災遺構として望ましい施設

【問 11 で「1.津波被災施設を震災遺構として整備する」と回答した方のみお答えください。】

問 11-1 震災遺構として望ましい施設についてお聞かせください。（自由記載）

震災遺構として望ましい施設について、644 世帯から回答があり、分類の結果、「請戸小学校」が 393 件と最も多く、次いで「マリンパークなみえ」が 111 件となっている。

<図表3-4-2-1 震災遺構として望ましい施設の分類結果>



※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

その他震災遺構整備に関する主な意見は、以下の通り。

【その他震災遺構整備に関する意見】

- 津波はおそろしい被害でした。残っているものはすべて残したい気持ちです。（70代以上）
- 何百年に1回といわれている大災害があったことを後世に伝えるためにも、残すことが必要と思う。（70代以上）
- 被災した建物をそのまま残すのは後世の負担となるので、津波の潮位がわかるようなものに建て替えて残す。（70代以上）
- 悪戯されないように管理を徹底し残すのが望ましいです。（60代）
- 震災記念公園等に震災遺構として保存する。（70代以上）
- そのままのありのままを残すこと。津波の前後の写真を展示。その後の被災者の状況説明と結果。（30代）
- 被災者の心情に寄り添った施設で見学できる様にして欲しい。（50代）
- モニュメント・慰霊碑や、震災・原子力のデータなどを被災施設に1つにまとめる。また、奇跡の一本松（岩手）のように人の手をいれず、災害の自然の姿で残す。（40代）
- 津波の直撃を受けてなお、以前の姿を留めている発信力のある施設であれば、特にこれと決める必要はないと思いますが、その施設だけがぼつんと保存されるのではなく、祈念公園、モニュメント、慰霊碑等と隣接させ、次世代に発信し続けられるようにしてほしい。（50代）